

2023年3月26日(日)第四主日礼拝

ヨハネの福音書18章1～11節

『わたしがそれだ(エゴ―エイミー)』

序論:

- ①桜の花とイエスさまの復活はどのような点が似ていますか。
- ②ヨハネの福音書は、イエスさまの十字架への道をどのように描いていますか。

本論:

### 1. 主は自ら十字架への道を歩まれた

- ①4節の「進み出て」という言葉は、イエスさまのどんな思いを表していますか。
- ②5、6節の「わたしがそれだ」という言葉は、イエスさまのどんな思いを表していますか。
- ③イエスさまはなぜローマ兵たちに捕らえられたのですか。

### 2. 主は私たちのために犠牲となられた

- ①イエスさまはなぜローマ兵たちに、弟子たちを去らせるように言われたのですか。
- ②イエスさまが犠牲となられたことは、何を指し示していますか
- ③マルコ10:45の「贖いの代価」とはどのような意味ですか。

### 3. 主は父なる神の御心に従われた

- ①イエスさまはなぜペテロに「剣をさやに収めなさい」と言われたのですか。
- ②父なる神がイエスさまにくださった「杯」とは何を意味していますか。
- ③真の祈りとはどういうものですか(ルカ44:22)。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。